

2012/13 Vプレミアリーグ優勝 堺ブレイザーズ

準フランチャイズ北九州で優勝祝賀会開催！

2012/2013Vプレミアリーグに2年ぶり5回目の優勝を果たした堺ブレイザーズスポーツクラブ（社長：藤田倫之氏）は、5月8日（金）、堺ブレイザーズの発祥の地であり、準フランチャイズでもある北九州市で、優勝祝賀会（北九州市小倉北区のリーガロイヤルホテル）を開催した。

祝賀会には、堺ブレイザーズ、新日鐵住金㈱関係者（協力会社含む）、北橋健治北九州市長、北九州市バレーボール関係者他サポーターを含む約300余名が参集し盛大に優勝を祝った。

冒頭、藤田倫之堺ブレイザーズ社長は、「本日は、このように多くの方々にお集まり頂きまして誠にありがとうございます。こういう形で北九州の地で

2012/13Vプレミアリーグの優勝を皆さんにご報告できることを大変嬉しく思っております。ブレイザーズはこういった皆さんの暖かい応援を支えに頑張っているチームでございます。今回の優勝を契機に、常勝ブレイザーズを酒井監督以下一丸となって作っていければと思っております」と挨拶を行なった。

引き続き、北橋健治北九州市長は、「今日は、感動的な夜であります。北九州市民としてVプレミアリーグで見事優勝された堺ブレイザーズの選手の皆様をお迎えできることは、本当に最高でございます。思い起こしますと、新日鐵さんと住金さんの会社があるときは、起業祭の時には、大谷体育館に、バレーボールの対

抗試合の応援に行きました。あの時も皆さん頑張っていました。今度は、合併をされて世界最強のアジアの基幹製鐵所への道を着実に歩まれています。そういうなかでバレーボールを大事にして市民に夢と感動を与えていること、本当にありがたいことです。ブレイザーズの優勝は、北九州市民に大きな夢と感動を与えていただきました。市民を代表して皆様の活躍に心から感謝を申し上げます」と祝辞を述べた。

福岡県バレーボール協会の保坂昌隆会長は、「まずもって堺



藤田堺ブレイザーズ監督と選手たち



谷本八幡製鐵所長より激励の乾杯

抗試合の応



北橋市長より祝辞の挨拶

ブレイザーズの 5 回目の優勝おめでとうございます。V リーグを半年間戦っての優勝、本当にご苦労様でした。今から半世紀以上前になりますが、私は、旧八幡製鐵のバレーチームから大谷体育館でよく練習をさせていただきました。それを今思い出しました。九州・福岡県の大勢の人が準フランチャイズ堺ブレイザーズの応援をしていると思います。今後とも益々活躍していただきたい。これまで名門新日鐵堺ブレイザーズは、多くの選手を全日本チームに輩出してきました。また、指導者もほとんどが新日鐵 OB です。これからも日本バレー界に有能な選手を引き続き輩出して頂くとともに、ジュニアの育成にもご支援いただければ幸いです。改めまして堺ブレイザーズの益々のご発展と御活躍をお祈りいたします」と挨拶を行なった。

引き続き、新日鐵住金(株)の谷本進治八幡製鐵所長は、「堺ブレイザーズのスポンサーを僭越ながら代表して乾杯の音頭を取らせていただきます。堺ブレイザーズの監督・選手・スタッフの皆さん、本当に優勝おめでとうございます。私ども、セミファイナルとファイナルは応援に行ったのですが、特にセミファイナルの 3 戦目のサントリー戦は 3-0 で勝ちました。ファイナルはパナソニックに 3-1 で勝ったわけですが、決勝戦、非常にお互いの力と力がぶつかりあった真剣勝負のいい試合でした。その試合を制しての優勝は、堺ブレイザーズの実力が本当に発揮された結果だと思います。それでは堺ブレイザーズが優勝したということで皆さん元気よく乾杯のご発声を御願いし

たいと思います。堺ブレイザーズ優勝おめでとう！」と力強く乾杯の挨拶を行なった。



堺ブレイザーズの選手による市内の中・高生に対しての直接指導（九州工業大学：体育館にて）